

氏名	細木 瑞穂
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3463 号
学位授与の日付	平成19年9月30日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Self-Esteem in Children with Psychosomatic Symptoms: Examination of Low Self-Esteem and Prognosis (心身症的症状を有する 児の自尊心：自尊心の低下と予後の 検討)
--------	---

論文審査委員	教授 栗屋 剛 教授 大塚 頌子 准教授 氏家 寛
--------	---------------------------

学位論文内容の要旨

自尊心とは、自己に対する評価感情で、自分自身を基本的に価値あるものであるとする感覚であり、現実の自己と理想の自己との差を評価したものである。健康な自尊心は、心理的安定と積極的な社会活動を支え、小児の心理発達に不可欠の要素である。

本研究の目的は、心身症的症状を有する児の自尊心を評価し、治療に利用する方策を明らかにすることである。今回我々は、岡山大学病院小児科心身症外来を受診した 56 例の自尊心を、A. W. Pope の自尊心尺度「子ども用 5 領域自尊心尺度」を用いて評価し、彼らの特徴や治療経過、社会適応について調査を行った。初診時の自尊心が複数領域で低下している症例は、全て女兒例であり、精神疾患を有する家族の存在・経済的困窮・虐待など家族機能に問題を抱えている頻度が有意に高かった。さらに、初診時の社会適応に関わらず治療予後が悪かった。

論文審査結果の要旨

本研究は、岡山大学病院小児科心身症外来を受診した小児の「自尊心」を、A. W. Popeの自尊心尺度「子ども用 5 領域自尊心尺度」を用いて評価したものであり、初診時の自尊心が複数領域で低下している症例では精神疾患を有する家族の存在、経済的困窮、虐待など、家族機能に問題を抱えている頻度が有意に高いという結論を得ている。このような研究は本邦ではほとんどなく、価値ある業績と認められる。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認められる。